

## ◎ 高校生として

### 1 年学年会

入学式からすでに3ヶ月がたちました。間もなく1学期が終わろうとしています。緊張感あふれた入学式を迎えた1年生が、この3ヶ月の間に新しい学習環境や部活動、そして人間関係などに戸惑いながらも、ようやく羽島高校の生活にも慣れてきたように感じます。最近のご家庭でのお子さまの様子はいかがでしょうか。

現在の1年生の学校生活で気になる点があります。高校の生活に慣れてきたと書きましたが、それには高校生としての自覚が伴わなければならないと思われれます。しかしまだ自覚を著しく欠く場合が見受けられます。おそらくは中学校の時と変わらぬ生活を送ればいいと考えていて、高校生活を正しく理解していないのでしょう。気分が乗らなければ、学校を休む。遅刻、早退、中抜けをする。理由もなく堂々と授業に遅れてくる。何の準備もしないまま考査を受ける。宿題をほとんど出さない。学校では認められていない頭髪、服装で登校する。以上のようなことを繰り返しますと、成績や進級に影響が出ますので、このような場合は、ご家庭で話し合ってください、是非とも高校生としての自覚を持つように促してください。

さて、今後の予定ですが、2年次からのコース選択をしなければなりません。文I、文II、理型の3つのコースより、自分の進路希望に合わせて選択してもらうこととなります。どのコースを選ぶかによって、進路の方向性が決まります。とても大切な選択ですので、ご家庭でも十分に話し合いを持たれ、ご家族で一緒にお考えになってください。詳しくは保護者懇談会で、生徒本人を交えてご検討し、決定してください。

これからも生徒のよりよい進路実現のため、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## ◎ 自己の進路を考える

### 2 年学年会

早いもので、2年生となり3ヶ月が過ぎました。最初の緊張も徐々にほぐれ、新しい学年にも段々慣れてきています。2年生という学年は、「中だるみの学年」といわれます。しかし一方では、3年生が進学・就職体勢となるに従い、部活動や学校生活など、羽島高校の中心として、活躍を期待される学年でもあります。

1年生の目標は、「高校生活に慣れる」ことでした。そのために、時に羽目を外してしまった生徒には、指導して正しい方向へ軌道修正をすることも多々ありました。しかし、これからは進路目標をしっかりと定め、各自が自発的にその目標に向かって進んでいくことが大切です。はっきりとした目標をもった生徒ほど、今、自分がやるべきことを自覚することができるからです。

そこで2年生の目標は、「自己の進路を考える」です。昨年は、1年を通じて文型か理型かという大きな選択をしました。今年はさらに目標を絞り、より具

体的な進路目標を目指させたいと考えています。

今年度になって気になることが、「遅刻」です。あまりにも安易に「遅刻」をする生徒が増えており、自分の将来を軽く考える生徒が多いことに不安を感じます。3年生になり、いざ自分の進路目標を実現しようとした時に、遅刻や欠席の記録は修正がききません。後になって、1、2年生の時の遅刻がなかったら…欠席が少なかったら…と悔やむ生徒が毎年何人か現れます。現在の生活が、自分の将来を傷つけることがないように、今を大切に生きて欲しいものです。学校でも引き続き遅刻がなくなるよう呼びかけますが、ご家庭でもお子さまが始業時間に間に合うよう、ご協力をお願いします。そして生徒全員が、来年度、自分の目指す進路目標を達成できるよう、ご家庭でも卒業後についての話し合いの機会をもっていただけると幸いです。

## ◎ 進路実現に向けて

### 3 年学年会

3年生になって3ヶ月が過ぎ、卒業後の進路について真剣に考える時期になりました。1学期におこなわれた2回の定期考査では、今までになく前向きに取り組む姿が見られました。卒業が視野に入り、勉強に対する姿勢にも真剣さが増しているのでしょう。

さて、3年生の大きな目標は「進路実現」です。本校生徒の進学先は多岐にわたっており、それぞれの進路希望で違う対策が必要となってきます。1学期では、進路先を進学者と就職者の2つに分け、進路別研修会を多く行ってきました。特に就職者は、9月中旬より就職試験が始まるため、早めの対応が必要です。6月に行われた「保護者向け就職者説明会」では、例年よりも多くの保護者の方々に参加していただき、ありがとうございました。保護者懇談会以前に、就職に関する情報を知っていただけたおかげで、より早い企業の選択ができることでしょうか。お子さまが就職先を決定するときに、保護者の皆様の協力は欠かせません。より満足できる就職先を見つけられるよう、今後もより連携を密にしていきたいと思っています。

また、進学者の入試は2学期が佳境となるため、この夏季休業中の過ごし方が大切になってきます。この夏季休業を、多くの学校から自分の志望校を決定し、その実現を目指す時間として欲しいと思っています。そのために大切なことは「自主性」です。受け身ではなく、生徒自身が「自主的に行動」することが進路実現の大きな鍵となります。

今年になり、3年生が大人になったと感じることがあります。しかし、残念ながらいまだに遅刻をしたり、身だしなみが乱れたりした姿を見ることもあります。本校で過ごす残りわずかな時間のなかで、彼らが「自主的に行動」し、自立した人間になってくれることを願っています。まだまだ力不足な所もありますが、どうか保護者の皆様方のご理解とご協力を引き続きお願いします。3月には、全員が希望する進路を実現し、自立した姿で旅立ってくれることを期待しています。